

令和 7 年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 総合体育大会 柔道大会 要項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 令和 7 年 6 月 1 4 日(土)・1 5 日(日) 1 4 日:団体戦 1 5 日:個人戦
7 時 3 0 分 役員集合 7 時 4 5 分 生徒入場
8 時 1 0 分 検査・計量 9 時 3 0 分 試合開始

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0 2 7 0 - 7 4 - 3 9 0 5
スポーツ振興課 0 2 7 0 - 7 4 - 1 1 1 3

5 競技役員

専 門 部 長 橋 憲市 (第二中)

専 門 副 部 長 石川 文俊 (殖蓮中)

専 門 委 員 長 木暮 寛幸 (第四中)

委 員	高橋 哲 (第一中)	出木浦絵未 (第一中)	上原 康暉 (第二中)
	曾田 和石 (第二中)	新井 聡明 (第三中)	樺澤 好久 (第四中)
	根本 瑞生 (第四中)	星野 治道 (殖蓮中)	岡部 豊 (殖蓮中)
	田島 孝志 (宮郷中)	三塚 良浩 (宮郷中)	三輪 洋介 (赤堀中)
	竹林 千晴 (赤堀中)	菅野 晃平 (あずま中)	関口佳奈恵 (あずま中)
	板垣 千枝 (四ツ葉)	石原 卓也 (玉村中)	涌沢 直行 (玉村中)
	田村 正美 (玉南中)	前川智恵子 (玉南中)	仁科 功 (境柔教)
	舘石 勇輔 (伊柔教)		

6 競技規則

国際柔道連盟試合審判規程および国内における「少年大会特別規程」、県中体連柔道部申し合わせ事項」、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、「伊勢崎佐波中体連申し合わせ事項」によって行う。

7 選 手

(1)男子団体戦は1チーム、監督1名、コーチ1名、選手7名以内とする。

(2)女子団体戦は1チーム、監督1名、コーチ1名、選手4名以内とする。

(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。

(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し、間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。

(5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。

(6)個人戦は、各体重別とする。

<男子> 50Kg以下, 50kg超～55Kg以下, 55Kg超～60Kg以下, 60Kg超～66Kg以下,
66Kg超～73Kg以下, 73Kg超～81Kg以下, 81Kg超～90Kg以下, 90Kg超

<女子> 40kg 以下, 40kg 超 ~ 44Kg 以下, 44Kg 超 ~ 48Kg 以下, 48Kg 超 ~ 52Kg 以下,
52Kg 超 ~ 57Kg 以下, 57Kg 超 ~ 63Kg 以下, 63Kg 超 ~ 70Kg 以下, 70Kg 超

8 試合時間 3 分

9 試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」「有効」または「指導」差 2 があつたときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。

(1) 男子は 4 校の 2 リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位 3 校によるトーナメント戦を行う。女子は、3 校及び 4 校の 2 リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位 3 校によるトーナメント戦を行う。

(2) リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3 校同等の場合は、代表選手 3 名によるリーグ方式を行う。

(4) トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

各階級でトーナメント戦を行う。

個人戦における判定基準は「技あり」「有効」または「指導」差が 2 あつたときとし、本戦で同等の場合は、GS により勝敗を決する。

10 表彰

団体戦の優勝校には、優勝旗及び賞状を授与し、第 2 位校、第 3 位校には賞状を授与する。

個人戦は、階級ごとに別途定める。

11 代表資格

《男女団体戦》本大会では男子上位 3 校、女子上位 4 校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《個人戦》各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第2位とする。ただし、男子の各階級の選手登録が16名につき1名、女子は各階級の選手登録が8名につき1名、代表資格者が増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

12 伊勢崎佐波中体連申合せ事項

《団体戦》代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

《個人戦》得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

13 その他

(1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は出場できない。なお、襟から5～10cm下に下記のように付ける。

(2)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(3)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤、古番(下または右)を白とする。

(5)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

<男子>					学 校 名
先	次	中	副	大	
					補 補 員 員
(模造紙 1/4)					

<女子>			学 校 名
先	中	大	
			補 員
(模造紙 1/4)			

(ゼッケン) 30 ～ 35 (cm)



25 ～ 30
(cm)

- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。

*送迎、駐車場での事故やトラブルについては、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。